

2013年2月25日から3月31日の約一か月間、私はアメリカフロリダ州のマイアミにあるFlorida Atlantic University (FAU)に短期留学しました。目的はナノ材料に関する研究と英語能力の向上で、以前FAUの先生が私の研究室に来ており、そのことがきっかけで留学の機会を得ることになりました。

渡航して初めの頃は、日本語を話すことのできる人が誰もおらず、会話するにも一苦労で生活を送っていたのか不安でいっぱいでした。しかし、滞在して1、2週間を過ぎると何となくでも英語が分かるようになり、勉強したイデオムを使って話が通じ合えた時はとてもうれしく、英語を話すことがとても楽しくなりました。

フロリダ州のマイアミは気候が温暖な行楽地で、私が留学に行った時期はちょうどサマータイムに入る時期で、日本にはない感覚なので新鮮でした。また、風が強いこともあり周囲には高い建物がありません、土地も広いので、ゆったりとしたイメージを与える街並



街並み



研究棟の前にて

かけがえのない思い出

先端技術科学教育部 物質生命システム工学専攻
化学機能創生コース 博士前期課程 2年
中西 信介 (なかにし しんすけ)



休日、ビーチにて友人と(本人右端)

みでした。私が宿泊していたのは大学近くの借家でルームメイト3人、猫2匹、ウサギ1羽と一緒に生活していました。ルームメイトの一人は私がお世話になる研究室の一員で、共同で実験を行っていたことから話す機会も多く、日本の文化やアメリカの文化について話し合ったりしました。

金曜日の夜や休日にはルームメイトの友人が数人訪れ、私のつたない英語にも親切に話しかけてくれて、友達になれたときはとても嬉しかったです。また、カラオケやビーチなどにも友人たちと出かけ有意義な休日を送ることができました。

食事に関しては、スーパーマーケットでは日本にない、数多くの食べ物売られており、種類も豊富で日本に比べて安かったため何を買おうか迷うことばかりでした。特にハムやチーズなどの乳製品、肉製品の種類が多く、すごくおいしかったです。お米や寿司もありましたが、やはり、日本の方がお米や魚のおいしさは上だと感じました。しかし、パンのおいし

さは日本以上で、主食をパンに変えてもいいと本気で思うほどでした。また、メキシコが近いこともあり、メキシコ料理が多くありました。現地では、タコスのことを「タコ」と呼び、初め聞いたとき「オクトパス」の「蛸」と勘違いして笑われたのが印象深いです。

1カ月という時間はあっという間で、やり残したことがたくさんあるように感じました。しかし、留学の経験は何事にも代えられない思い出になったと思います。



実験風景

私は去年の十月に、冬がすぐそこまできている中国の東北地方を離れて、徳島にきました。あっという間に、桜の時期も過ぎて、10ヶ月も経ったことに気がつきました。実は、日本での体験は徳島から始めたのではなく、大阪からでした。一昨年大阪での45日間の研修があり、それで日本に対して好奇心が湧き、抑えることができなくなりました。そこで、去年また日本に戻ってきました。

徳島については何も知りませんでした。大都市とはいえず、四国の中では、なかなかの都市だろうと思っ、来日前に吉林大学の日本人の先生が阿波踊りのビデオを見せてくれたので、徳島行きを心待ちにしていました。しかし、きてみたらどこにでもラーメン屋さんがあるのに驚きました。また、まだ午後10時なのに、人通りがないのにも驚きました。でも、だんだんすみやすくなり、ラーメンも好きになりました。

日本で、最初に気付いたのは人に対しての「信頼」ということでした。はじめてスーパーで買い物をしたときは、本当に驚きました。中国では大きいかばんは、まず先

What's happening?



留学生
滞在記

私の交換留学生活

総合科学部 特別聴講学生
陶 亜楠 [中国]
(トウ アナン)



藍染め体験



徳島城見学



和服体験

に預けなければなりません。でも日本のスーパーではかばんを預けなくてもよかったです。その「信頼」に感謝しました。

一人暮らしははじめてなので、寂しくなったらどうすればいいのかわからず心配していました。しかし、さまざまなイベントでそういう心配がすべてどこかに行ってしまう、毎日充実していて、楽しく過ごしています。秋の楽しみ狩りをはじめ、冬のスキー、春の花見、藍染め体験、大谷焼き体験、人形浄瑠璃など景色も日本の伝統的な文化も楽しみました。徳島には特別な時期でなくても山登りや街歩きなどのような自由に参加できるイベントがたくさんあり、体を動かすこともできるし、いろいろな人と接することもできます。皆さんも参加してみたら新しい発見があるかもしれません。その他には、国際センターの「国際交流サロン」のおかげでさまざまな国からの留学生に出会って、日本の文化だけでなく、日本人と一緒に世界各国の料理も味わえて、まるで世界旅行をしているように、とても満足しています。

伝統的な文化について思いつ

たことがあります。ある日本人の家を訪ねたとき、和室の敷居は踏んではいけないことや畳と畳の接するところも踏んではいけないことなどを教えてもらいました。日本人の若者は、知っているのでしょうか。今、中国の若者の中には、伝統文化について詳しく知らない人が多いように思います。これは、とても残念です。

最後に日本のお年寄りについて書きたいと思います。この10ヶ月間でだんだん日本のお年寄りへの考えが変わりました。町でジョギングや山登りをしているお年寄りも少なくないし、アルバイト先で見るとお年寄りも若者と同じくらいやる気があるし、本当に頑張っている人たちがいます。それに、自分で外国語を勉強しているお年寄りも少なくないようです。中国でもお年寄り向けの大学があり、興味のあるものを学ぶことができます。私たちも頑張らなくてはなりませんね。

日本での交換留学生活はあと2ヶ月です。まだ体験したいことがたくさんある私にとって、この2ヶ月を大切にしようと思っています。